様式１

エネルギー管理功績者表彰推薦調書

 　　　　　　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 表彰の種類 | 関　東　経　済　産　業　局　長　表　彰 |
| ふりがな氏　　　　　　名 |  |
| 現　　住　　所 | （〒　　　　　　）TEL　　　　（　　　）E-MAIL： |
| 生年月日・性別 | 年　　　　月　　　　日（　　　　才） 　男　・　女 |
| 勤務先 | 名　　称及び役 職 名 | 法人番号（　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 所在地 | （〒　　　　　　）TEL　　　　（　　　） |
| 企業概要 | 資本金 百万円 | 従業員数 名 |
| 履　　　　　 歴 |  |
| エネルギーの使用合理化関与年数等 | 社内 | ※関与年数はエネルギー使用の合理化関係業務に係る主任、係長等の責任ある職位に就任した日から起算する。※当該役職において、エネルギーの使用合理化に関し、どのような業務を行ったかを具体的に記載すること。　　　　　　　　　　　　　　　　　関与年数計　　　　年　　　　 月 |
| 社外 | ※当該役職において、エネルギーの使用合理化に関し、どのような業務を行ったかを具体的に記載すること。※法人・団体等に所属していない技術アドバイザー等については「社外」に記載すること。　　　　　　　　　　　　　　　　　関与年数計　　　　年　　　　 月 |

　※関与年数等の欄には、エネルギーの使用の合理化業務の名称又は役職名等ごとに、関与した当初年月と関与年数を

記入のこと。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （主としてエネルギー関連分のみ） | ※エネルギー管理士、ボイラー技士（特級）、ボイラー・タービン主任技術者、電気主任技術者、高圧ガス取締法に規定する製造保安責任者免状、消防法に規定する危険物取扱者免状、特定工場における公害防止組織の整備に関する法律に規定する公害防止管理者及び公害防止主任者免状並びにその他これに類する免状等について取得年月を記載する。 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  | ※エネルギー関係の表彰歴（グループでの表彰については、当人が関与したもの）を記載する。記載する期間については、上記「エネルギーの使用合理化関与年数等」の期間内に受賞したものとすること。※表彰歴については、エネルギーの使用合理化に関連する表彰制度であることが分かるよう表彰の目的が記載されたもの（表彰要領等）を別紙にて提出すること。 |  |

Ⅰ．合理化技術の向上

１．エネルギーの使用状況

（指定工場の場合は、定期報告書　指定第6表及び指定第7表並びに特定第6表を添付でも可）

(1)エネルギーの使用に係る消費原単位の推移（直近５年度間のデータを記入）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 |  5年度間平均原単位変化 |
| エネルギー消費原単位 |   |   |   |   |   |  |
| 対前年度比 （％） |  |   |   |   |   | 　　　　 　  |
| 原単位改善について、候補者が実施した業務 |   |

　　　※５年度間の対前年度比の平均が１％以上改善されていない場合は、(2)にも記載すること。

(2)電気需要最適化評価原単位の推移（直近５年度間のデータを記入）

|  |  |
| --- | --- |
| 　　電気の使用量の集計区分 | * 月別　　　　　□　時間帯別
 |
| 　　 | 年度 |  年度 |  年度 |  年度 |  年度 |  5年度間平均原単位変化 |
| 電気需要最適化評価原単位 |  |  |  |  |  |  |
| 対前年度比 （％） |  |  |  |  |  |  |
| 原単位改善について、候補者が実施した業務 |  |

(3)ベンチマーク指標の状況（※該当する事業者のみ記載）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象となる事業の名称（セクター） | ベンチマーク指標の状況（単位） | 対象事業のｴﾈﾙｷﾞｰ使用量（原油換算kl） |
|  |  |  |
| ベンチマーク達成に向け候補者が関与した業務 |  |

※ベンチマーク制度対象業種の事業を行う事業者のみ記載すること。

対象となる事業の名称には、当該のセクターごとに実施している事業（複数の事業を行う事業者は該当する事

業の名称をすべて）の名称を記載し、ベンチマーク指標の状況には、直近年度の事業において、セクター毎に

ベンチマーク指標の算定方法に従って算定した指標の数値と単位を記載すること。

２．省エネルギー技術の導入

|  |  |
| --- | --- |
| 技術内容 | ※エネルギーの使用合理化に関し導入した技術と候補者の関与について記載すること。・原則として、直近５年度間以内の導入実績を記載する。・記載する件数は問わないが、評価の対象とする技術は「工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準」の目標部分に掲げる技術等とし、最大4件を評価対象とするため、目標部分に該当する技術の導入であることが分かるような記載をすること。・設備導入の場合は、単に設備の導入に留まらず導入後の運用改善を行っていること。 |

Ⅱ．啓発・普及、指導等

|  |
| --- |
| 啓発・普及、指導等の具体的な内容 |
| 社内 | 　　　項　　　　目　　　 | 時期又は期間 |  　　　　　　具体的な内容　　　　　 |
| ※所属する企業において、エネルギー管理技術等の啓発・普及、指導等の活動事例を記載すること。※記載する期間については直近5年度間とすること。※記載する件数は問わないが、最大5件を評価対象とするため、具体的内容のほか、候補者の関わりを詳細に記載すること。 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 社外 | ※社外におけるエネルギー管理技術等の啓発・普及、指導等の活動事例を記載すること。※記載する期間については直近5年度間とすること。※記載する件数は問わないが、最大5件を評価対象とするため、具体的内容のほか、候補者の関わりを詳細に記載すること。※法人・団体等に所属していない技術アドバイザー等については、社外に記載すること。 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

Ⅲ．その他　（１．については被推薦者本人、２．については所属する事業所の状況について記載していただくこと）

　１．重大な法令違反の有無

 イ．有 ロ．無

|  |  |
| --- | --- |
| 法令違反年月日 | 法　令　違　反　の　概　要 |
|  |  |

　　　※刑法で被告人となっている場合や法令に違反し懲役、禁固、罰金刑の執行となったものについて、その内容

を記載すること。

　２．事業所等における法令違反、公害及び事故の発生状況

　　　(1) 法令違反の有無

 イ．有 ロ．無

|  |  |
| --- | --- |
| 法令違反年月日 | 法　令　違　反　の　概　要 |
|  |  |

　　　※省エネ法に関する法令違反については過去５年間、省エネ法以外の法令については過去３年間の内容を記載

すること。

　　　(2) 公害等の発生状況

 　イ．有 ロ．無

|  |  |
| --- | --- |
| 公害等発生の年月 | 公　　害　　等　　の　　概　　要 |
|  |  |

※事業者等の責任により、過去３年以内に公害問題等で自治体等に条例等に基づく報告書等を提出したもの又

は改善命令等を受けたものについて記載すること。

　　　(3) 事故等の発生状況

 イ．有 ロ．無

|  |  |
| --- | --- |
| 事故等発生年月日 | 事　　故　　等　　の　　概　　要 |
|  |  |

※事業者等の過失により、過去３年以内に死亡者の発生等又は被害の範囲が被表彰候補者（法人、事業所等）

の範囲内でおさまらないなど、社会的影響が大きい事故や災害が発生したものについて記載すること。

※推薦理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |